

## 見島小中学校だより

第4号



発行責任者 校長 中野貴夫

豊かな心と健やかな体を持ち、夢の実現に向けて自ら学び続ける見島っ子の育成

## 大豊作！収穫したさつまいもを調理しました

9月28日（火）に、学校の畑（花壇）でさつまいもの収穫を行いました。これは、学校運営協議会「体プロジェクト」の今年度の活動として、さつまいもの栽培、収穫、調理の一連の活動を「いもプロジェクト」と題して実施していただいたものです。学校運営協議会の■■■さんと■■■さんのご指導の下、5月に苗の植え付けを行ってから約4ヶ月、どのくらいの大きさのさつまいもができているのかと、子供たちはわくわくした表情で土を掘り始めました。すると、予想をはるかに上回る大きなさつまいもがどんどん姿を現してきました。必死に掘り起こした結果、上の写真のとおり、たくさんのさつまいもを収穫することができました。



収穫したさつまいも



このたび収穫したさつまいもは、10月21日（木）にふれあい交流センター調理室で、引き続き、■■■さん、■■■さんのご指導の下、全校児童生徒、保護者、教職員で、スイートポテトやさつまいもスープを作り、みんなでおいしくいただきました。

今回も、温かく児童生徒をご指導いただきました■■■さん、■■■さん、本当にありがとうございました。

## どんな作品ができるかな？【萩焼制作体験教室】

9月29日（水）、長門市在住の萩焼作家■■■先生をお招きし、萩焼制作体験教室を行いました。最初に、■■■先生から萩焼についてのお話をうかがったり、作業の進め方についての説明を受けたりしました。その中で、「萩焼を作る土には見島の土もある。あまりたくさん取れない貴重な土である」ということを教えていただき、子供たちは一気に萩焼を身近なものとして感じる事ができたようです。

続いて、実際に手びねりの技法を使って萩焼の土を皿やコップ、マスコットなどの形にしていく作業を行いました。予想に反し？子供たちは、周りにいた教員がビックリするほどの集中力を発揮し、時間一杯黙々



と作業を続け、工夫を凝らした作品を作り上げていました。



先生や同行された主催者である市の職員の方々からも、「ここまで熱心に取り組んでくれる子供たちも珍しい！すごい！」とお褒めの言葉をいただきました。中には以前から萩焼づくりに興味があった子供もおり、本教室が子供たちにとってふるさと萩を知る良い機会になったと同時に、思い出に残る体験活動になったことは間違いありません。

完成した作品は、一度本土に持ち帰られ、窯で焼いていただいた後、12月頃にそれぞれの子供のもとに返って来る予定です。

## 中学部生徒が旭中学校での授業に参加しました

10月8日（金）に、中学部が交流学习のため、一日旭中学校での授業に参加しました。同年代の生徒と関わる機会が少ない本校の生徒ですが、すぐに打ち解け、いつもとは違う雰囲気での授業を楽しんだようです。以下、活動の様子をご紹介します。



2校時にドッジボールで緊張をほぐした後、3・4校時に合唱講習会に参加しました。当日の指導者は、前萩高校合唱部顧問の先生でした。全校生徒の合唱に参加したことで、日ごろ味わうことのできないスケール感のある合唱を体感できたのではないのでしょうか。また、先生からご指導いただけたことも、二人にとってはよい経験となったことでしょう。



6校時は、数学の授業で1次方程式を使った授業に参加しました。ゲーム感覚で、生徒同士で問題を作ったり、解いたりしました。学習活動中には、分からないところを教え合ったり、生徒全員の前で解き方を説明したりしていました。一日の交流学习も終わり間近となり、緊張なく笑顔で当たり前のように授業に参加している二人の姿が微笑ましく印象的でした。

## 萩阿武中学校新人体育大会に出場しました！



翌日【10月9日（土）】は、萩阿武中学校新人体育大会に出場しました。中学生となり新たに始まった部活動で培ってきた練習の成果を部員二人も、そして小中全教職員もとても楽しみにしていました。本校保護者の皆様も応援に駆けつけてくださり、その前で生徒たちは成長した姿をしっかりと見せてくれました。それぞれ第1シード、第2シードの選手との試合となりましたが、今後につながる手応えをつかみ、次なる目標ができた良い大会となりました。